

研修 評価

研修名	看護職のための自殺予防と対策 ～看護職がゲートキーパーとしての役割を果たせるために～				
領 域	政策提言に向けた 研修	会場	Zoom による オンライン研修	受講料	会 員：3,080 円 非会員：9,240 円
対 象	学習段階レベル（Ⅱ～Ⅴ） 募集数(90 人)応募数(61 人)参加数(61 人)会員数(29 人)非会員数(32 人)				
日 時	Zoom によるオンライン研修 2024 年 11 月 11 日 9：30～16：40				
ねらい（目標）	1）うつ病の早期発見と対応のポイントを学ぶ 2）うつ傾向にある患者のかかわり方を学ぶ 3）事例を通して、地域で支える仕組みについて学ぶ				
講 師	服部 麻耶加 新潟県福祉保健部障害福祉課いのちとこころの支援室 主任 福島 昇 新潟市こころの健康センター 所長 関谷 昭吉 新潟青陵大学福祉心理学部臨床心理学科 准教授 長谷川 香里 下越地域いのちとこころの支援センター 専門相談員				
内容・方法	○講義内容 ・新潟県の自殺の現状と対策 ・自殺対策：どう気づいて、どう対応するか～いのちを守るために大切なこと～ ・自殺・事象を防ぐための支援～苦しみを理解し支える面接～ ○研修方法 情報提供・講義・演習・実践報告				
結 果	評価基準： ①参加数が募集数の 70%以上 ②研修内容の理解度 （できた、ほぼでき た）80%以上 ③自己課題の達成度 又は研修目標（知識 技術）の習得度（で きた、ほぼできた） 80%以上 ④アンケートの意見 ○参加者数 61 名 68% 【達成・未達成】 ○アンケート結果（回収率 98%） ・理解度 99% 【達成・未達成】 ・自己課題の達成度 100% 【達成・未達成】 ○受講者の意見 ・今回受講し、希死念慮・ハイリスク患者の方への対応だけでなく、普段行っているがん患者のつらさの評価で、気にかけている姿勢を伝えることも重要な自殺対策であることを学んだ。 ・それぞれの講師より深い話が聞けた。この研修を定期的に振り返り、面談につなげていきたい。 ・自殺のサインに気づいたら支援先につないでいきたい。				
評 価・総 括	○目標達成の評価：【研修会の目標は達成した】・達成しなかった】 ・テーマ・目標・企画内容・時間配分など：適切であった。 ・アンケート結果：実践に役立つ内容であり、明日からでもすぐに実践していきたいと前向きな意見が多く、満足度も高かった。 ○総括 ・オンライン研修は移動の負担なく、同じ施設から複数で参加することができる点がよい。一部の参加者の Zoom 操作に課題があった。				
課 題	・特になし				
担当者	教育委員				